

県央部におけるマツノマダラカミキリの羽化脱出時期

1 はじめに

松くい虫被害は平成21年度に盛岡市で発生し、県央部まで北上しています。被害対策の一つである「被害木の伐倒駆除」では、マツノマダラカミキリ（以下カミキリという）が羽化脱出する前に被害木を伐倒して駆除（くん蒸、焼却、チップ化）することが重要です。

県南部ではカミキリの飼育調査を行い6月中旬には羽化脱出してくることが明らかとなっていますが、県央部では知見に乏しい状況です。矢巾町にある岩手県林業技術センターでは、被害が県央部に侵入する以前から厳重な管理のもとでカミキリの飼育を行い、羽化脱出時期を調査してきたので、その結果を報告します。

2 カミキリの羽化脱出時期

当センターの昆虫飼育網室（野外条件下で昆

虫を飼育するための金網で覆われた施設）にカミキリの寄生したマツ丸太を収納し、毎日～数日おきにカミキリの羽化脱出頭数を数えました。

結果を図に示します。平成14年は6月20日に、平成15年は6月22日に、平成16年は6月25日に、平成17年は6月28日に、平成18年は7月3日にカミキリが初めて羽化脱出しました。

3 駆除事業への活用

県南部では、早い年は6月15日頃に初めての羽化脱出があります。今回調査を行った県央部では、それより極端に遅くなることはなく、早い年は6月20日頃には羽化脱出してきました。県央部も県南部と同じ6月中下旬を目標に、駆除を完了させることが重要です。

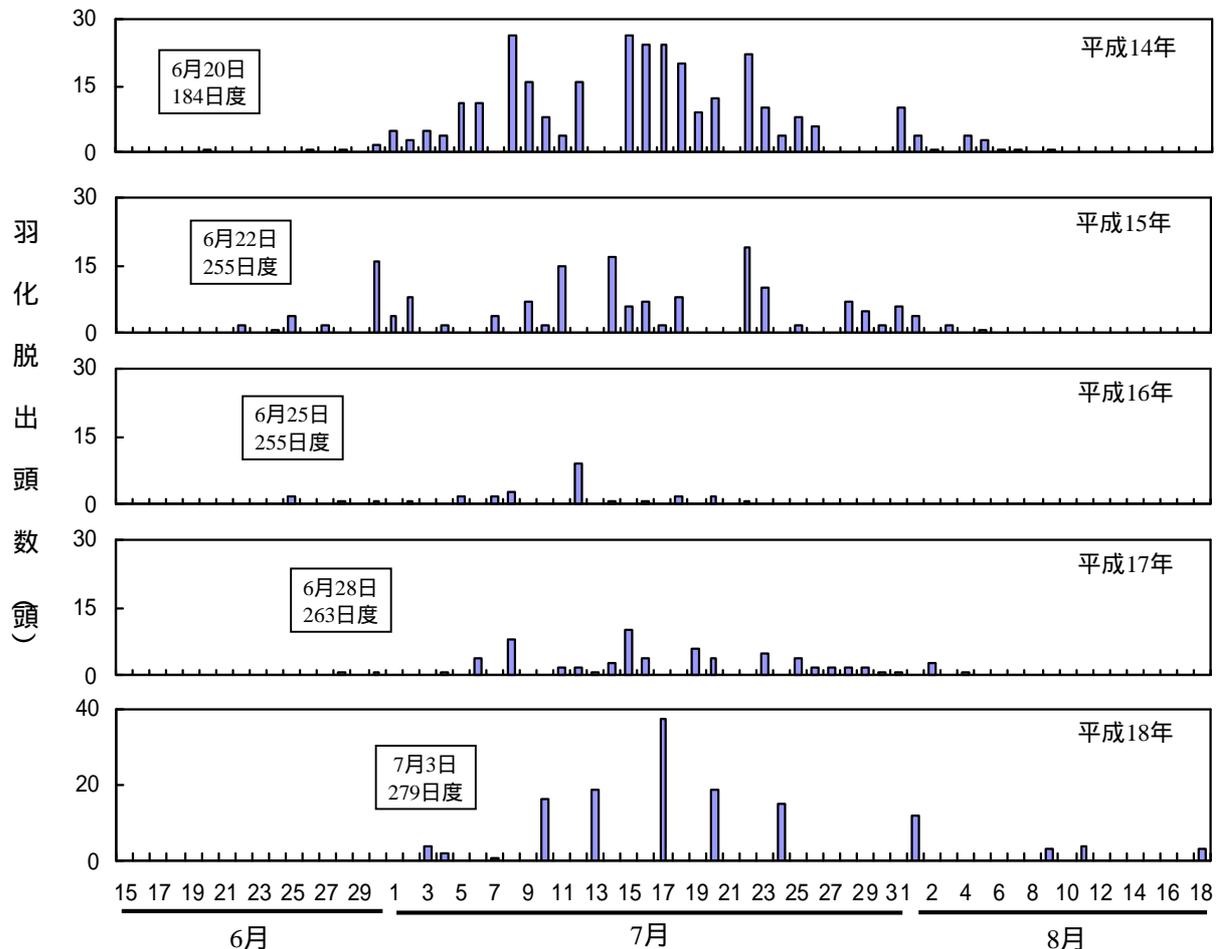


図 矢巾町におけるマツノマダラカミキリの羽化脱出時期

図中の注釈は、上段が初めて羽化脱出があった日（初発日）で下段が有効積算温度（春先から初発日までの期間、日平均温度が12.0以上であった場合に、日平均温度から12.0を差し引いて、それを積算した値）。有効積算温度だけで初発日を説明することはできませんが、200～250日度前後で初発がみられることが多いようです。

(担当 研究部 上席専門研究員 高橋健太郎)

連絡先	028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第3地割560番地11	T E L 019-697-1536
	岩手県林業技術センター	F A X 019-697-1410
	ホームページアドレス http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/	